

平成26年1月30日

東京都福生市長

加藤 育男 殿

福生市環境マネジメントシステム監査チーム

代表監査員 関根和美

副代表監査員 山本 忠

高橋 清樹

遠藤 はり奈

環境監査報告書

LAS-E共通実施項目の監査結果について、以下のとおり報告いたします。

1. 日時

平成26年1月28日(火)～30日(木)

2. 監査対象

本庁舎	17	実行部門
市民利用施設	5	実行部門
医療福祉施設	0	実行部門
供給処理施設	2	実行部門
保育施設	0	実行部門
教育施設	5	実行部門
指定管理施設	2	実行部門
計	31	実行部門および推進委員会

3. LAS-E監査内容

共通実施項目監査

第1ステージ No.1～No.11, No.13～No.22, No.24～No.29

第2ステージ No.1～No.7, No.10～11, No.13～17, No.20, No.23～28

4. 総合所見

福生市の LAS-E 第 1 ステージおよび第 2 ステージの共通実施項目監査を実施しました。その結果と所見は以下のとおりです。

<全体結果>

監査対象となった第 1 ステージ全 27 項目のうち、エコマネジメントの視点に係る 2 つの項目で△（改善要望）があった以外は、すべて実施率 100%となりました。第 2 ステージについてはすべての項目で実施率 100%でした。職員ハンドブックに明確な記述のない発展的な質問をした項目もいくつかありましたが、どの職場でも第 2 ステージで求められるレベルに十分に達する回答が得られました。

◎（大変良い）と評価された取り組みは 12 項目で昨年度同様の水準ですが、市民と協力した実践活動や市民への情報発信、市民の声を反映した施設設計など、市民を巻き込んだ取り組みが多くみられました。市民との関わり方や活動の広げ方を考えている職場が多く、第 2 ステージに入ったことを意識してレベルアップしようという前向きな姿勢を感じることができました。

今年度から抽出監査を導入し、昨年度の監査結果や組織体制の変更、事前書面調査票の記入内容などを勘案して選定した 31 実行部門を対象に監査を行いました。監査時間を 30 分とし、質問数も絞り込んだことから、例年に比べて余裕をもって監査を進められたと思います。時間をかけてコミュニケーションをとる中で、これから取り組みたいアイデアなども聞き取ることができました。今年度は監査対象とならなかった職場にも、高く評価された取り組みや今後が期待されるアイデアをしっかりと共有し、監査で得られた成果を全庁的に活かしてください。

<今後の課題>

①日常の環境活動の発展について

職場ごとに行う独自の環境配慮の工夫として、市民と関わりながら活動を発展させようとする職場が増えてきましたが、そうでない職場との格差が開きつつあることも感じました。窓口業務や管理業務が中心の職場では、直接的な市民参加は考えにくい面があります。しかし、活動を職場内に留める必要はなく、職員としてあるいは市民として活動できる場はたくさんあります。また、嘱託職員やパート職員が働いている職場では、これらの職員にも理解を求め共に活動することが、市民に波及させるひとつの方策ともいえます。家庭や地域でできることを考えたり、正規職員以外のスタッフも巻き込んだ活動をするなど、制約がある中でも様々な方策で環境活動を発展させることができます。視点を変えて、広がりのある活動を検討していただきたいと思います。

②数値目標設定方法について

いくつかの職場で、年度当初に設定したエネルギー使用量に関する数値目標が実情に沿わないとの声を聞きました。市全体で目標としている削減率を画一的に全職場に当てはめているため、施設の改修や事業増など個別の事情が反映されないことが課題となっています。問題なのは、活動の成果を測る指標になるはずの目標値が、「頑張っても意味がない」目標になってしまっていることです。事務局では、来年度から目標設定の方法を見直し、個別の事情を勘案して各職場の申告により目標値を調整するとしています。このことにより、実情に合わせた目標が設定されるだけでなく、今まで以上に達成への意欲が高まることを期待しています。

③環境推進委員会について

環境推進委員とのやり取りの中から、環境推進委員会が最高意思決定機関として十分な機能を果たしていない面があることが感じられました。推進委員の中には環境政策や LAS-E の取り組みについて強い関心や問題意識をお持ちの方もいらっしゃるということが分かりました。現在の環境推進委員会は、実績の報告と事務局が提案する方針の確認が中心となっているようですが、推進委

員が率直に意見を交わして具体的な議論ができれば、各職場での取り組みや分野別の環境施策がより一層充実すると思います。環境推進委員会の重要な役割として、LAS-Eの運用に関する評価・見直しと、環境マネージャー会議や事務局へ指示を出すことが定められています。運用上の問題に対して議論を深め、その結果として必要な指示を発することが推進委員の役割です。環境マネジメントシステムの意思決定機関として相応しい議論の場となるよう、環境推進委員会のあり方を見直し、各推進委員には自覚を持って参画していただくことを望みます。

5. 共通実施項目実施結果

【第1ステージ】

No.	視点	取り組み内容 (◎は必須項目)	実施率 (◎または○)	評価 結果
1	エコ ア ク シ ョ ン	◎職場内で省エネルギー(電気、ガス、灯油などの利用削減や効率的利用)に取り組んでいる	100%	○
2		職場内で節水や排水時の環境負荷低減に取り組んでいる	100%	○
3		職場内で紙使用の抑制・再使用・リサイクルに取り組んでいる	100%	○
4		職場内で廃棄物の発生抑制・再使用・リサイクルに取り組んでいる	100%	○
5		職場で使う製品のグリーン購入(再生紙、環境配慮型製品の使用など)や地場製品の購入に取り組んでいる	100%	○
6		公共施設における再生可能エネルギー(太陽光、風力、バイオマスなど)の活用を検討し、導入している	100%	○
7		公共施設において環境配慮型設備の設置・更新(高効率・省エネ型設備、断熱化、緑化など)を検討し、導入している	100%	○
8		庁舎・施設内に常在する者(施設管理者、食堂・売店スタッフ等)に環境配慮の要請をしている	100%	○
9		庁舎・施設へ出入りする事業者に環境配慮への協力の要請をしている	100%	○
10		公用車利用による環境影響の抑制(職員の勤務中の公用車利用の抑制、エコドライブ、自転車の利用や低公害車の導入など)を実施している	100%	○
11		職員の通勤時の直接的環境影響の低減(マイカー使用の抑制、エコドライブ、公共交通機関や自転車の使用など)を実施している	100%	○
13	エコ マ ネ ジ メ ン ト	◎首長が環境に関する基本方針を設定し、職員がこれを認識・理解している	100%	○
14		事務事業に伴う環境への影響の内容が把握されており、職員がこれを認識・理解している	100%	○
15		職員が環境マネジメントシステムで定めた独自の数値目標について、認識・理解している	100%	○
16		環境マネジメントシステムに関する組織体制・責任体制が明確になっており、職員が組織上の役割を認識・理解している	96%	○
17		職員が環境や環境マネジメントシステムに関する教育を受け、その内容を理解している	92%	○
18		各職場において独自の環境配慮の工夫をしており、職員がこれを理解し実践している	100%	○
19		事務活動に伴う環境負荷の発生量を定量的・定期的に把握している	100%	○
20		庁内事務活動の環境への取り組みに関する部門間の協議組織が定期的に開催されており、内容を職員に指示・伝達している	100%	○
21		すべての職員に環境や環境マネジメントシステムに関する教育を受ける機会や情報を定期的に提供している	100%	○
22		首長が環境に関する協議組織と定期的に協議し、環境マネジメントシステムについて適切に指示している	100%	○
24	エコ ガ バ ナ ン ス	◎環境に関する基本方針を一般に公開している	100%	○
25		環境に関する数値目標の達成状況や取り組みの実施状況を定期的に公開・提供している	100%	○
26		環境に関連する計画(環境基本計画、都市計画マスタープラン、緑の基本計画、ごみ処理基本計画など)の内容を公開・提供している	100%	○
27		環境に関連する計画(環境基本計画、都市計画マスタープラン、緑の基本計画、ごみ処理基本計画など)の策定・運用にあたり、途中経過を率先して公開・提供している	100%	○
28		環境を保全・改善する施策・事業(公園・緑地整備、水辺整備など)について、その内容を公開・提供するしくみがある	100%	○
29		環境に影響を与える主要な公共事業(道路等の建設、ごみ処理施設建設、宅地造成・公共施設建築など)について、その内容を公開・提供するしくみがある	100%	○

【第2ステージ】

No.	視点	取り組み内容 (◎は必須項目)	実施率 (◎または○)	評価 結果
1	エコアクション2017	再生可能エネルギーの利用や省エネルギー活動を実践することにより、災害に強い低炭素型のまちづくりを進めるための施策・事業に取り組んでいる	100%	○
2		環境負荷の少ない移動手段の確立を進めるための施策・事業に取り組んでいる	100%	○
3		健全な水循環や、清らかな水・水辺環境の維持・回復を進めるための施策・事業に取り組んでいる	100%	○
4		森林・農地の持つ環境保全機能を維持し、生物多様性の保全・創造を進めるための施策・事業に取り組んでいる	100%	○
5		廃棄物の排出や有害物質の使用を減らし、資源の循環利用を進めるための施策・事業に取り組んでいる	100%	○
6		地域資源の活用や地域間連携による産業育成やまちづくりを進め、食糧や主要な資源の自給度を高めるための施策・事業に取り組んでいる	100%	○
7		遵守すべき関係法令の洗い出しとその見直しが定期的に行われている	100%	○
10		公共施設の利用者に対し環境配慮の要請をし、その状況を確認している	100%	○
11		公共事業の計画・設計・発注・施工時の環境配慮に取り組んでいるとともに、関係法令およびガイドラインを遵守している	100%	○
13		地域の環境特性(大気、水質、緑、廃棄物などの状況)や地球環境への負荷(CO2排出量など)を定量的・定期的に把握し、課題が明らかになっている	100%	○
14		エコマネジメント	環境に関する施策・事業を体系的に整理したうえで、その実施結果を定期的に把握し、とりまとめている	100%
15	環境保全関係事業予算や事業ごとの環境対策費の推移を定期的に把握している		100%	○
16	首長と環境に関する協議組織とが定期的に協議し、環境配慮や環境保全・改善施策について首長が適切に指示している		100%	○
17	環境に関する計画や施策・事業について点検・評価し、成果や課題について把握し、今後の方針を検討している		100%	○
20	職員が環境に関する基本目標や地域の特徴を踏まえ、自らの役割や実践すべきことを認識・理解している		100%	○
23	エコマネジメント部門で把握している事項をとりまとめ、年次報告書などの形で対外的に広く公表し、これらの取り組みに対する市民などの評価を掲載している		100%	○
24	環境学習のための情報や、活動の機会を提供し、環境に配慮した市民やリーダーを育成している		100%	○
25	市民からの環境に対する問い合わせや苦情、要望に対し、迅速かつ適切な対応方法を確立し、とりまとめている		100%	○
26	エコガバナンス	環境に関する計画や施策・事業についての市民の意見を、はがき、メールなどで受け付けており、適切に対応している	100%	○
27		環境保全・改善事業(公園・緑地などの維持管理、街路・河川などの環境美化活動など)に市民が参加・協力して実施した結果をとりまとめている	100%	○
28		環境に関する計画策定や改訂作業に、市民が直接参加する機会を設けている(市民委員会、懇談会など)	100%	○

(参考) 「規格別」実施率算定資料

【第1ステージ】

No.	視点	事務局					事務局以外					合計				◎ or ○ (A)	集計対象 (非該当等 除く) (B)	実施率 (A/B)	
		◎ 大変良い	○ 良好	△ 改善 事項	× 報告 事項	/	- 質問 せず	◎ 大変良い	○ 良好	△ 改善 事項	× 報告 事項	/	- 質問 せず	◎ 大変良い	○ 良好				△ 改善 事項
1	A		1												10		10	10	100%
2	A		1												11		11	11	100%
3	A		1												12		12	12	100%
4	A		1												13		13	13	100%
5	A		1												6		6	6	100%
6	A		1												3		3	3	100%
7	A		1												3		3	3	100%
8	A		1												7		7	7	100%
9	A		1												8		8	8	100%
10	A		1												9		9	9	100%
11	A		1												7		7	7	100%
13	M		1												13		13	13	100%
14	M		1												12		12	12	100%
15	M		1				1							1	11		12	12	100%
16	M		1						24	1					25	1	25	26	96%
17	M		1						23	2					24	2	24	26	92%
18	M		1				7		35					7	36		43	43	100%
19	M		2						10						12		12	12	100%
20	M		2						14						16		16	16	100%
21	M		2												2		2	2	100%
22	M		2						1						3		3	3	100%
24	G		2												2		2	2	100%
25	G		2												2		2	2	100%
26	G		2						2						4		4	4	100%
27	G		2						2						4		4	4	100%
28	G		2						2						4		4	4	100%
29	G		2				2		4					2	6		8	8	100%
合計			37				10	228	3					10	265	3	275	278	

【第2ステージ】

No.	視点	事務局					事務局以外					合計				◎ or ○ (A)	集計対象 (非該当等 除く) (B)	実施率 (A/B)		
		◎	○	△	×	/	-	◎	○	△	×	/	-	◎	○				△	×
		大変 良い	良 好	改 善 事 項	勸 告 事 項	該 当 な し	質 問 せ ず	大 変 良 い	良 好	改 善 事 項	勸 告 事 項	該 当 な し	質 問 せ ず	大 変 良 い	良 好				改 善 事 項	勸 告 事 項
1	A		2											2			2	2	100%	
2	A		2											2			2	2	100%	
3	A		2											2			2	2	100%	
4	A		2											2			2	2	100%	
5	A		2											2			2	2	100%	
6	A		2											2			2	2	100%	
7	A		2											2			2	2	100%	
10	A		1						7					8			8	8	100%	
11	A		2											2			2	2	100%	
13	M		2											2			2	2	100%	
14	M		2											2			2	2	100%	
15	M		2											2			2	2	100%	
16	M		2						1					3			3	3	100%	
17	M		2						7					9			9	9	100%	
20	M		1					1	10					1	11		12	12	100%	
23	G		2											2			2	2	100%	
24	G		2					1	9					1	11		12	12	100%	
25	G		1						2					3			3	3	100%	
26	G		1						6					7			7	7	100%	
27	G		2						2					4			4	4	100%	
28	G		2						2					4			4	4	100%	
29	G		1											1			1	1	100%	
合計			39					2	46					2	85		87	87		

(参考) 「設問別」実施率算定資料

ステージ	No.	視点	設問 No.	設問内容	◎	○	△	×	／	-	◎ or ○ (a+b) =(f)	算定対象数 (該当無し 除く) (a+b+c+d) =(g)	設問別 実施率 (f ÷ g)
					大変 良い (a)	良好 (b)	改善 要望 事項 (c)	勧告 事項 (d)	該当 なし	質問 せず			
1	1	A	1	省エネルギー		9					9	9	100%
1	2	A	2	節水、排水時の負荷削減		10					10	10	100%
1	3	A	3	紙使用の抑制・再使用・リサイクル		11					11	11	100%
1	4	A	4	廃棄物の発生抑制・再使用・リサイクル		12					12	12	100%
-	-	-	5	前回指摘の改善		9					9	9	100%
1	17	M	6	職員への環境教育の実施		12	1				12	13	92%
1	19	M	7	環境負荷の定期的把握		10					10	10	100%
1	8	A	8	常在業者への環境配慮要請		3					3	3	100%
1	9	A	9	出入業者への環境配慮要請		7					7	7	100%
2	10	A	10	施設利用者への環境配慮要請・確認		7					7	7	100%
1	29	G	11	主要な公共事業の内容公開	2	4					6	6	100%
1	6	A	12	再生可能エネルギー設備の検討・導入		2					2	2	100%
1	7	A	13	環境配慮型設備の検討・導入		2					2	2	100%
1	27	G	14	環境関連計画の途中経過の公開		2					2	2	100%
2	28	G	15	環境関連計画への市民参加		2					2	2	100%
1	26	G	16	環境関連計画の公開		2					2	2	100%
2	26	G	17	環境関連計画・事業への意見受付		6					6	6	100%
1	28	G	18	環境保全・改善事業の内容公開		2					2	2	100%
2	27	G	19	環境保全・改善事業への市民参加・結果の把握		2					2	2	100%
2	25	G	20	苦情、要望への対応		2					2	2	100%
2	24	G	21	環境学習・広報の実施	1	9					10	10	100%
2	17	M	22	施策・事業の点検評価		4					4	4	100%
2	17	M	23	施策・事業の点検評価(戦略プロ以外)		3					3	3	100%
1	16	M	24	EMS上の役割の理解(実行責任者)		10					10	10	100%
1	8	A	25	常在業者への環境配慮要請		3					3	3	100%
1	17	M	26	職員への環境教育の実施		11	1				11	12	92%
1	5	A	27	グリーン購入、地場産品利用		5					5	5	100%
1	10	A	28	公用車利用による環境影響の抑制		8					8	8	100%
1	11	A	29	通勤時の環境影響の低減		6					6	6	100%
1	15	M	30	独自目標の認識・理解	1	10					11	11	100%
1	18	M	31	職場独自の取り組み	1	10					11	11	100%
1	13	M	32	基本目標の認識・理解		12					12	12	100%
1	14	M	33	事務事業に伴う環境影響の認識・理解		11					11	11	100%
2	20	M	34	地域環境への関心・特徴の理解	1	10					11	11	100%
1	22	M	35	市長との定期的協議		1					1	1	100%
2	16	M	36	環境施策の定期的協議(市長)		1					1	1	100%
1	16	M	37	EMS上の役割の理解(市長)		1					1	1	100%
1	20	M	38	部門間協議の定期的開催(環境推進委員会)		14					14	14	100%
1	16	M	39	EMS上の役割の理解(推進委員)		13	1				13	14	93%
1	18	M	40	その他	6	25					31	31	100%
				合計(事務局監査分除く)	6	283	3	0	0	0	295	298	

※事務局監査分を除いた各課・施設への監査結果を集計。

個別所見一覧(部署別)

部署番号	評価区分	所見	部署名
61	良	環境への取り組みについての意欲を感じられました。特に福生市環境マネジメントシステムの運用を通じて、職員の環境意識向上が図れたとの成果と、今後の課題への取り組みと期待を表明されました。6年間のLAS-Eの成果を評価したいと思います。	市長
61	総	LAS-E第2ステージへの取り組みに期待したいと思います。ただ、環境基本計画の進捗と今後の環境政策について、市長としてのアピールをもっとコミットメントしてほしいと思いました。また、CO2削減計画と現状データの乖離にも目を向けてご発言をいただきましたかったところです。	市長
62	良	「太陽熱を利用した温水ヒーターを家に入れたことで、毎日が楽しくなった」と自分の例をあげ、環境はガマン・忍耐でなく楽しく嬉しく挑戦できるものと仰っていました。職員の環境に対する意識もだいぶ高まり、第2ステージにも十分に実践できると言っていました。	副市長
62	総	広い視野で環境行政を見てくださるトップだと思います。この上は、ご自身の強い思いを庁内の行動につなげていただきたいです。CO2排出量50%削減の見直しを促進されることを希望します。	副市長
63	良	教育の観点からは、エコを意識する人材、エコを学んで行動できる人材をどうやって増やしていくかに重点を置いていってほしいです。持続可能な形をつくっていくとの強い意志をお聞きすることができました。	教育長
63	総	学校教育の現場では、教育内容自体は学習指導要領に定められている通りに指導していかなければなりません。こうした中でも、施設の老朽化に伴う改修の際にLED化、校庭の芝生化、多摩産材の活用などを進めることで子どもたちへの学習効果を高められるとのお考えをお持ちです。地域とともに環境学習の環境整備を進め、教員の指導力を高めるための研修なども進めていきたいとのことでした。	教育長
1	◎	議員さんたちのエコ活動は、これまでも十分にされていますが、それをより高めて、第2ステージへの取り組みへと広げようという意識と意欲が窺え、心強く感じました。議会だよりでLAS-Eの記事を掲載し、情報発信を積極的にされています。正副議長からも環境活動の普及に関する発言があり、議員さんたちに十分浸透していることが窺えました。	議会事務局
1	総	市議会議長・副議長が監査のオブザーバーとして同席し、監査の質問終了後には、環境に対する思いを話していただきました。	議会事務局
2	良	前回監査時のよい事例を参考に、会議資料の電子化に取り組み、紙削減に効果を出されています。	企画調整課(企画調整担当)
2	総	中期計画の今年度の取り組みについて、活動内容が「都への働きかけ」、24年度計画が「都への環境整備等の要望を行う」となっています。年度の計画は市民の参画などもう少し具体的な取り組みとし、明確な目標となるような設定をお願いします。	企画調整課(企画調整担当)
6	良	用紙の使用具合が目視できるようになっており、よいと思います。	情報システム課
6	総	事業課ではないため、第2ステージの取り組みが難しい面もありますが、業務継続計画の面で事業者と連携して行うようお願いいたします。	情報システム課
7	良	一方通行の研修ではなく、職員からの提言も取り上げる研修へと広がっていくと考えられたことは大切なことであり、よい発想だと思います。	総務課

【評価区分】総：総合コメント、良：良かった点
◎：特に優れている、△：改善要望、×：勧告事項

個別所見一覧(部署別)

部署番号	評価区分	所見	部署名
7	総	特に優れたことも、指摘をするような問題もありませんが、LAS-Eについてはよく理解されていました。	総務課
9	良	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回の消防団の会議に使用する資料及び開催通知をメールで送るように協議し協力してもらっています。また、会議時にはOHPを利用し紙ベースでの資料を配布しないようにしています。 ・廊下の照明が一括スイッチなので点灯すると全てが点いてしまい、夜は真っ暗になり手探りで移動するようになってしまう。そのため百円ショップで買った電池式LEDライトを設置して明かりを確保しています。 ・事前連絡の消防からのFAXには、裏紙で対応しています。 	安全安心まちづくり課
9	総	駐輪場は指定管理者が管理していますが、利用者へのアンケートを実施し、シルバーさんからの意見を取り入れたりしています。東福生駅の駐輪場対策を実施し、26年3月にオープン予定。	安全安心まちづくり課
10	良	実行責任者自ら「LAS-E講話ニュース」(職員研修用資料)を作成、良い取り組みなどを紹介し、情報の共有を図っています。	職員課
10	総	平成24年度の改善要望事項は改善されていました。その他の事項についても、ほぼ満足できる内容でした。	職員課
12	良	交通安全確認日に課長から一方的に話すだけでなく、職員1人1人の経験談を話してもらうようにしました。発表された概要も記録に残しているとのこと。内容に応じた見出しを付けて分類しておく、ノウハウ集として全庁的に共有できるものになると思います。	総合窓口課
15	良	<ul style="list-style-type: none"> ・在庫管理表を作成して、一目で物品の状況が分かるようにしています。 ・保険証発行台紙の余白(端紙)をメモ用紙にしており、一辺に糊付けしてメモ帳として使えるようにしています。 	保険年金課
15	総	研修の際に、例えば「紙の使用を抑制する方法」を職員1人1人に述べさせることを始めました。継続して行い、効果が上がることを期待します。ハンドブックのルールだけでなく、自分自身の行動にも触れてもらうようにすると、活動のアイデアを共有する場になると思います。	保険年金課
17	良	市民参加に関しては、「環境審議会」「ふっさECOカフェ」「花いっぱい運動」等、市民を中心に動かしています。	環境課
17	総	エネルギーの地産地消プロジェクトチームが検討している再エネ導入指針の成果を期待します。	環境課
18	◎	太陽光発電のモニターは、もとは見学者用のみであったところ、廃物利用でモニターを作り、玄関前にも設置して見える化を図っています。	リサイクルセンター
18	良	<ul style="list-style-type: none"> ・窓にUVカットのシールを貼り、温度調整をしています。 ・月曜日に動力を停止し、手作業だけにすることによる合理化と省エネが定着しています。 	リサイクルセンター
19	良	環境基本計画の担当事業については、計画通り順調に推移しています。町内活動も活発に行われ記録が残されLAS-E効果も記されています。	協働推進課
19	総	出前講座について、環境関連5講座中、1講座に集中しています。もう少しPRLしたらいかがでしょうか。	協働推進課

【評価区分】総：総合コメント、良：良かった点
◎：特に優れている、△：改善要望、×：勧告事項

個別所見一覧(部署別)

部署番号	評価区分	所見	部署名
21	良	筆談用のボードの使用が良いと思いました。	障害福祉課
21	総	他課を巻き込んで、環境及び福祉に配慮した町づくりに貢献することを期待します。	障害福祉課
23	良	・牛乳パックを工夫して再利用し、来訪者の心を和ませる効果も引き出しています。 ・周辺住民を巻き込んだ花植えで第2ステージのひとつの形態で活動されています。	健康課
23	総	実行責任者も一般職員も、概ね環境意識が高く、公私ともに良い行動をされています。	健康課
23	◎	・資源ゴミの再利用をされています。牛乳パックをドアのストッパーに使い、なおかつ来訪者(特に妊婦・幼児)の心が和む絵などを工夫していて、とてもいい試みだと思います。ほかの部署でも取り入れるようお勧めします。 ・近隣市民の協力を得て、建物周辺に花(プランター)を設置されているとのことで、第2ステージへの取り組みとして評価します。	健康課
24	◎	児童館での農業体験により、子どもたちに作る喜び・食べる喜びを教育しています。この事業をはじめたことにより、田園児童館では、土地の所有者・児童・保護者・町会の新たな関わりができ、ごみにしないで無駄なく食べるという環境教育および食育に貢献していると感じました。指定管理者も努力されていることを評価したいと思います。	子ども育成課
24	良	武蔵野台児童館でガスの使用量が多すぎることに気づき、半年ほど確認したのちに空調機の老朽化を発見することができたとのことです。データの異常を発見した児童館、速やかに予算措置をした子ども育成課の両方がうまく噛み合ったと思います。	子ども育成課
24	総	保育園連合会議や児童館を利用している児童・保護者、町会の方など外部の方々への働きかけ、巻き込み方が、LAS-Eの第2ステージの取り組みを実践されていると感じました。	子ども育成課
28	良	緑の基本計画や都市計画マスタープラン等の改定作業での、市民の意見の吸い上げなど、市民との協働を意識した取り組み姿勢は評価できます。	まちづくり計画課
28	総	改定されたマスタープランを具現化する際にも、市民との協働を活用し、今後も進めていかれることを期待します。	まちづくり計画課
32	◎	事務局内に「ラスイー情報発信」コーナーを設営し、常日頃から局内外職員との情報共有を図っています。 また、LAS-Eの進捗管理をボード管理し、見える化されています。	選挙管理委員会事務局
32	総	平成24年度の改善要望事項は改善されていました。 平成25年度は早い段階よりLAS-Eに対する局内の研修、情報共有により、新たな取り組みにも発展するなど、評価できる面もありました。	選挙管理委員会事務局
35	◎	環境学習、情報提供において、省資源(落ち葉収集・廃材利用の箱で腐葉土化・花壇に使用)、地域との協働(芝生化応援団による維持管理)という生きた実践活動と成果があり、高く評価します。	福生市第一小学校
35	良	子どもを主体とした保護者や地域住民との環境学習の取り組みは、良いモデル事例として横展開できればいいと思います。	福生市第一小学校

【評価区分】総:総合コメント、良:良かった点
◎:特に優れている、△:改善要望、×:勧告事項

個別所見一覧(部署別)

部署番号	評価区分	所見	部署名
35	総	校長の環境活動に取り組む熱意と行動が、PTA、町会、地域サポートを動かし子どもたちへの良い環境学習効果となっています。廃棄物対応・リサイクルなど、独自の工夫がいろいろなところで実践され継続しているのも素晴らしいと思いました。	福生市第一小学校
37	△	学期1回+日々の話の中で環境のことを伝えていましてと言われました。エコや環境、節水、節電も周知徹底されているようでした。しかし、LAS-Eハンドブックで職員研修は、月1回実施とあります。今回はLAS-Eとしてのとらえ方をより意識していただきたいので、あえて△にしました。 ※(事務局へ)学校における研修のルールについて、どこまで厳密に求めるべきかを再検討する余地があると考えます。	福生市第三小学校
37	良	CO2アクション月間の活動、用務主事の分かりやすい分別や捨てられていても使えるものがあると展示をするなど、とても良い工夫がされていました。	福生市第三小学校
37	総	芝生化への町内会・地域・PTAが進んでの協力、学校池の清掃をボランティアが行うなど、よい取り組みがありました。市全体でLAS-Eという仕組みに取り組んでいるということ意識し、その中で学校での独自の取り組みがどう位置づけられるか整理して捉えていただけると良いと思います。	福生市第三小学校
39	良	愛鳥モデル校を実践しているだけあって、観察会で児童や参加者が集まるときをとらえ、ゴミ拾い・ゴミ分別・ゴミの環境への影響などを授業の一環としてやっていらっしゃると思います。	福生市第五小学校
39	総	児童への学習の機会あらゆる場所、場面でなされています。職員が自分たちの理解を深めることに留まらず児童への浸透に努力されているところに、学校の特性が活かされています。今後も環境に理解の深い人材を育てる教育を継続していただきたいと思います。	福生市第五小学校
39	△	職場研修の仕方を改善して、月1回の機会を設けてください。内容については今のボリュームや手段でいいと思いますが、ハンドブックに決められていることを守っていただきたいと思います。 ※(事務局へ)学校における研修のルールについて、どこまで厳密に求めるべきかを再検討する余地があると考えます。	福生市第五小学校
42	良	保護者会の一つである「おやじの会」と連携して、落ち葉の堆肥化事業を推進しようとしている点は良いと思います。	福生市第一中学校
42	総	・太陽光発電の活用計画があり、実現を期待しています。 ・前年度から継続して、エコ活動を行っていました。 ・環境基本計画の目標について、日々実行していながら即答できなかったのが、研修方法を工夫するといいいのではないかと思います。	福生市第一中学校
44	良	・校舎外構を保護者・地域と連携して整備を行う計画があり、第2ステージの目的に合っていてよいと思います。	福生市第三中学校
44	総	★今後に期待！ 第2ステージの目的をよく理解されています。校舎外構整備の実現を望みます。	福生市第三中学校

【評価区分】総：総合コメント、良：良かった点

◎：特に優れている、△：改善要望、×：勧告事項

個別所見一覧(部署別)

部署番号	評価区分	所見	部署名
45	良	調理職員がPTAの要望で出張懇談会をするようになり、アレルギーや食育を話しているのが好評。そのためガソリン使用量が増えるかも知れないとのこと。 また、PTA、生徒にアンケートをしたため全小中で、紙の使用や残業での光熱費が増えたかもしれないとのこと。良いことを行うために使用量が増えることはOKだと思いますし、その根拠を把握しているのも良いと思いました。	学校給食センター
45	総	★今後に期待！ 小中給食をめざし、新しい給食センターの建設を控えている。災害時対応施設としてのセンターとなるため熱源確保して、機械を動かすことが優先される。が、その中でもCO2削減を考えたセンターにしようと、情報収集をし、保護者、生徒などにもアンケートをとっている姿勢はすばらしい。また、残渣を業者引取りにするより、水とCO2に変え、下水に流す設備をいれるのを費用対効果も考えています。まだ実施されていないので◎ではないが、今後より良い方向にいくよう見守っていきたいと思っています。	学校給食センター
46	良	目標値などを前年と比較するグラフにして見える化し、管理し、施設に貼るなどの工夫がよいと思いました。	生涯学習推進課
46	総	・プチギャラリー、かえで会館、扶桑会館などを管理し、管理者はなく、シルバーさんが対応しているため、年に一度はシルバーさんに研修をするときに環境についても話しているのはよいと思いました。半面シルバーさんが担うところが多い部署は、シルバーさんを総括するところへLAS-Eが周知できる状況があるとよいと思いました。 ・目標値に対して水の使用が多くなっていたが、空調設備が老朽化のため節水できないそうです。目標値を下げて努力できない部分は目標値の立て方が問題かもしれません。	生涯学習推進課
47	良	昨年は△であった部分について、再度確認のためにハンドブックを見て話をしてもらう方法で質問し、問題はありませんでした。	中央体育館・スポーツ推進課
47	総	・目標値などは資料をそのまま保管するのではなく、自分の部署の数字は拡大して資料を生かすようにヒントとして話をしました。	中央体育館・スポーツ推進課
48	◎	数値目標(電力・ガス・水)を設定し、温度も毎日チェック、1カ月点検を行い、評価・管理されています。利用者が増加する中、成果として電力・水が削減していることが評価できます。	公民館
48	◎	市民への情報発信を、情報メール(H26.1月分13件)、利用者連絡会、要望箱等で工夫し、発信されています。利用者増へ結びつき、第2ステージでの成果が期待できます。	公民館
48	良	職場の日々の努力と職員の対応は、とても良いと思いました。	公民館
48	総	第2ステージに向け、ますますの環境活動と市民への情報発信、市民参加の充実を期待します。	公民館
50	良	あらゆるところにチラシ等が貼ってあり、注意を促しています。しかし、色などもう少し工夫されるとより効果的だと思います。	白梅会館
50	総	利用者に対してあらゆる場面で環境活動・教育をされていることが分かりました。	白梅会館

【評価区分】総：総合コメント、良：良かった点
◎：特に優れている、△：改善要望、×：勧告事項

個別所見一覧(部署別)

部署番号	評価区分	所見	部署名
54	◎	会館改修においてアンケートでの意見・要望をマトリックスにまとめ、利用者配慮の検討結果により、屋外テラス等を実現するなど、市民の声を反映させました。	わかざり図書館
54	◎	環境対策の表示とエネルギー管理のトレンド分析を行い、対応処置に活用しています。	わかざり図書館
54	良	施設改修の際の市民の要望の取り入れ・公開が行われています。 環境活動が見える化されています。	わかざり図書館
54	総	女性感覚のやさしい環境配慮対策と実現への熱意に感動を覚えました。	わかざり図書館
55	◎	建物改修工事に際して、事前に利用者アンケートを実施し、その意見・要望を実施計画に十分反映したのとなっており、環境に配慮した施設を目指すならば、どの施設の改良工事でも利用者の要望を十分反映したのとなることが定例となるべきだと考えます。	わかたけ図書館
55	良	利用者が多く集まる場所(新刊図書のコーナーや図書返却ワゴン)を狙って貼り紙・展示コーナーを設置しているのは効果的だと思います。	わかたけ図書館
55	総	職場研修方法について、ハンドブックを置いて各自が確認することをもって周知しているとのことでした。全員が集まることがないので全体での研修はできないようですが、ハンドブックを確認する日を指定したり、月ごとに必ず確認すべき項目を指定したりするなど、LAS-Eの意識を高めて必要な情報が確実にいきわたるような研修を実施する方法を考慮していただきたいです。	わかたけ図書館
56	良	ボランティアとの協働でリサイクルに取り組み、ペットボトルのキャップや入れ歯(金属の回収)など、いろいろな資源回収を実施している点が良いと思います。	福祉センター(社会福祉協議会)
56	総	・資源回収等を通して、LAS-Eの意識が高いので、次年度以降も継続をお願いします。 ・ポスター・チラシ・表示物のきめ細かい環境配慮の見える化など、利用者へのやさしい対応が印象的でした。	福祉センター(社会福祉協議会)
59	◎	一般職員の方(2年目)がLAS-Eの主旨をよく理解しており、多くの市民が利用する施設であることから、基本目標の中でも「人と暮らし中心のまち」という項目が大切だと考えていらっしゃいます。第2ステージに入っていることも踏まえ、市民との関わりを大切にし、コミュニケーションをとって施設を運営していきたいという気持ちが伝わってきました。	熊川・福生地域体育館
59	総	・窓口で利用者にごみの持ち帰りや節電への協力を呼び掛け、誰がいつ受付しても同じ内容が伝わるように徹底しているとのことでしたが、さらに確実にするために「環境配慮について伝えること」をリスト化して提示するなどの工夫をしてください。 ・紙使用の抑制のため「コピー用紙枚数記入ノート」に記入しています。コピー用紙使用に対して抑止力はあるのだろうと思いますが、集計などはされていない様子です。記録を付けることで実際の抑制行動につながることを期待したいです。	熊川・福生地域体育館

【評価区分】総:総合コメント、良:良かった点

◎:特に優れている、△:改善要望、×:勧告事項

個別所見一覧(部署別)

部署番号	評価区分	所見	部署名
59	総	以前やっていた「エコポイントカード」をまた実施したいが、カード作成や周知にも紙を多く使用するので、継続実施が難しいとのことです。自動販売機の設置業者が置いている缶・ビン・PETとパンの空き袋専用のもの以外、敷地内にはごみ箱を置いていません。 口頭で持ち帰りを呼びかけていますが、心無い利用者がロッカーや植え込みにごみを捨てていくこともあるようです。施設では努力をされていますが、指定管理者としてできることの限界があるように見受けられました。エコポイントカードは他の市有施設と共通システムで実施できれば効率的に運用できる可能性があり、庁内担当課が主導して検討していただきたいと思えます。	熊川・福生地域体育館
60	良	巡回相談を始めたため、公用車の使用が増えたが、今まで相談室で待っているだけより評判がとてもよく、助かっているとの声があがっているそうです。ガソリンの使用が増えても、こういうメリットのある事業は引き続き実施して欲しいと思えます。今後は軽自動車にしていきたいとも言っていました。	教育センター(指導室)
60	総	職員が一人の職場だったため、質問項目がそぐわないと思えました。事前に職場状況を把握することで、より現場にあった質問ができると思えました。ただし、このセンターは都の非常勤、スクールソーシャルワーカー、教育相談と外部からの人が非常勤として18人ぐらいいるので、外部へのアプローチがしやすい職場だと思えました。	教育センター(指導室)
64	良	LAS-Eを、市民の代表である議員にも理解していただく活動が続けられています。	議会事務局長
64	総	推進委員として、第2ステージを考慮し、議員への働きかけを実施されています。市民の代表である市議に対する関与活動を引き続きお願いします。	議会事務局長
65	良	第2ステージに入って今後の課題として、市民・事業者にLAS-Eを広めるためにどうするべきかを、推進委員として考えていることが、聞いていて理解できました。	企画財政部長
65	総	次回に向けての取り組みを期待したいと思います。	企画財政部長
66	良	日々の活動とLAS-Eとのリンクを強く意識されています。市民に率先した活動を所属員に話されているとのことです。	総務部長
66	総	LAS-Eの課題を十分理解されています。地球のめぐみに感謝し気持ち良い生活のために環境配慮活動に取り組まれていることに感心しました。	総務部長
67	良	副市長への報告の場があり、その場を利用して部内啓蒙を行っているとのことでした。いろいろな場を利用していくことはとてもいいことだと思います。	市民部長
67	総	・環境推進委員としての自覚が怪しいと思えます。答弁が課長・一般職員のレベルに終始し、問題意識が見えませんでした。 ・環境活動の部内浸透度についてはよく観察されていますが、今少し課題解決型の動きを期待します。	市民部長
67	△	市役所外部へのアプローチについて「難しい」との内容の答弁で、積極性が感じられませんでした。	市民部長

【評価区分】総：総合コメント、良：良かった点

◎：特に優れている、△：改善要望、×：勧告事項

個別所見一覧(部署別)

部署番号	評価区分	所見	部署名
68	良	前回監査の総括から、福生市の弱点である「情報発信力」を向上させる取り組みを進められています。 LAS-Eの情報発信について、出前講座など多くのアイデアをお持ちでした。	生活環境部長
68	総	環境関連の業務を多く担当する部署であり行事の実行委員会を担当し、環境に配慮した活動を行っています。市民・事業者との連携も図られています。 LAS-Eの情報発信に期待します。	生活環境部長
69	良	LAS-E上の役割の理解、今後への対応についても明確で、第2ステージへの取り組み姿勢も評価できます。	福祉保健部長
69	総	ますます高齢化社会になり、障害者が増える中で、市民との関わりで環境活動をどのように進めるかを検討されています。 市としての取り組みが必要と感じました。(バリアフリー化と市民参加・協働によるまちづくり推進)	福祉保健部長
70	良	推進委員としてとても問題意識が高いと思われます。	子ども家庭部長
70	総	推進委員会が意見を出しやすい場・活発な議論がされる場となるようにと考えていらっしゃいます。監査委員としては、多くの推進委員が活発な発言をされることによりさらに充実した委員会にしていきたいと望みます。	子ども家庭部長
71	良	説明がわかりやすくポイントをついたスムーズな監査ができました。	都市建設部長
71	総	LAS-Eの第2ステージに向け、市民参加・協働でのまちづくりに意欲的に取り組んでいます。特にCO2削減に向けたLED化は、2年で約3400本を目指しており、削減効果が大いに期待できます。	都市建設部長
72	良	素晴らしい環境学習とリーダーシップ発揮の管理者で、今後も期待したいと思います。	会計管理者
72	総	とても良い監査ができました。	会計管理者
73	総	現在の取り組みをいろいろと紹介していただきましたが、第2ステージに向けた波及の方針や考え方などを具体的に示していただきたかったです。	教育次長
74	良	職員の意識の形骸化を問題視しておられ、それに対して活動をされています。薬品の管理に留意し指導をされており、また、ハンドブックをPCのデスクトップから見られるようにして児童への教育にも生かすようにと、校長会で話をされています。	教育委員会参事
74	総	自治体のISO14001立ち上げに関わったり、福生市がLAS-Eを導入する際のWGに入っていたEMSの専門家であり、学校教育を通して10年後、20年後の福生を考えていらっしゃいます。常にヒントの発信を心がけて、頼もしく感じました。	教育委員会参事
75	良	職員からの発案で、国体のミニのぼりを再利用し「その印刷、本当に必要ですか？ プリントする前に確認を」「電気も公共財産ですよ！ 私的な電気利用はやめましょう」などと書いて周知しています。再利用による啓発グッズ作成など水平展開できればと思います。	総務部参事

【評価区分】総：総合コメント、良：良かった点

◎：特に優れている、△：改善要望、×：勧告事項

個別所見一覧(部署別)

部署番号	評価区分	所見	部署名
75	総	国体対応で、訪れる人たちが気持ちよく過ごせるようにと、清掃、花を植える、ユリートの飾り作りなどを行われました。国体によって多くなった業者にも環境配慮のゴミ収集周知にも頑張っておられたようです。国体が終了しても良いところはそのまま継続していただきたいと思いました。	総務部参事
事	良	データや資料が良く整理され、監査前に提供していただいた資料も昨年より充実していて、監査が進めやすくなりました。環境基本計画事業の評価方法を改善し、より実態が掴みやすくなりました。施策の改善につながるツールとして期待できます。	事務局
事	総	各職場の監査での評価(◎△×)の推移が分かる資料があれば、取り組みの進展や課題を見つけやすくなります。書類は作成年月日を記載するようにし、議事録などの提示を求められたときは整理された見やすい形で提示していただけるようお願いします。	事務局

【評価区分】総：総合コメント、良：良かった点
◎：特に優れている、△：改善要望、×：勧告事項